

議会基本条例推進委員会記録

1. 期日 令和4年2月3日(水) 開会 15時20分
閉会 16時00分
2. 場所 第1委員会室
3. 議題 1. 令和4年第1回定例会終了後の報告会について
2. その他
4. 出席者 渡辺委員長、松崎副委員長、二宮委員、羽根委員、杉崎委員、
大沼委員、前田委員、根岸委員、善波議長
- 傍聴議員 0名
事務局 3名(局長、庶務課長、副主幹)
傍聴者 0名
-

委員長 手元に今日の会議の目的を簡単にメモしたものを用意した。定例会終了後の議会報告会の開催の概要までを今日決定したいと思う。その中で開催するかしないかの確認、開催するとすれば大体想定される日程、開催方法、回数、新型コロナウイルスの感染状況によってどう判断していくのか、少なくとも今日はここまでは進めていきたいと考えている。進捗状況によって具体的な内容や準備とか広報の仕方について進められるようであれば進めたいと思う。こういう内容でよろしいか。議事に入る。開催の確認だが、条例上は報告会を開催する。開催しないとすれば、議長の判断でこれを決することができる。皆様の意見はいかがか。

二宮 先におおまかな日程を出さないといけない。オミクロン等の収束が分からないのでいかがなものかと。3月議会の報告なので、そんな先にもっていけないと思う。

委員長 これまでやっていたのは第一回定例会後、連休前にやるのか連休後にやるかの日程が多かった。準備の関係もあり、そうになってしまう。そのあたりを想定していただけたらと思う。

大沼 現状のコロナウイルスの感染状況でしか言えないが、リスクがあるので開催しない方がよいのではないかなと思う。

杉崎 開催すると言って広報して、感染が広がってやめましようとなると、それを打ち消すのが大変ではないか、という理由で今回見送った方がよいのではないかなと思う。

根岸 オンラインという模索は難しいか。実際に会場に集まったりするとなると、特に時間的にゴールデンウィークあけとかになると、すごくバタバタするのではないかなと思うので、何か会わない方法でお知らせする方法はな

いか。議会として、予算の議論とか必要ないか。そこまで無理する必要があるのか無いのか悩みどころである。

委員長 根岸委員は、集まるのは難しいがオンラインを検討したらどうかということによろしいか。

前田 私もそうである。通常の形での開催は感染予防ということで、安全面で心配なので、できればオンラインでお願いしたいと思う。それも厳しいようであれば前年と同様 YouTube で流したようなものでも今回の場合はやむを得ないと思う。

羽根 集まっての開催は難しい。オンライン開催もなかなか難しい問題もあるので、前回同様 YouTube でやるのがベストな気もする。

委員長 集まると良い理由はいくつかあるが、実際に感染リスクが高い、感染リスクが読めない部分があるので避けた方がよいのではないかというのがほとんどの意見である。

松崎 感染のことを皆さん心配されてオンラインという話だったが、そもそも開催してほしいという声が全く聞こえてこない。今までの参加者の数を見て、これだけの参加者のために準備して（オンラインだとしても）事務局の方も準備に関わるとなるとコロナが完全に収束したとしても、オンラインも含めてやらないというのが私の意見である。

二宮 オンラインというのは双方向か。それとも YouTube か。

松崎 全てである。

二宮 分かった。オンラインでやるとしたら前は私と議長だけで出演者も少なかった。今回はそれぞれの委員長とかが出ればファンの方もいらっしゃるだろうし見るのかなと思う。やり方を変えてもう一度やるのはありなのかなと思う。

渡辺 オンラインと YouTube だとややこしくなるので、ユーチューブ配信もしくはオンライン会議として今日は言葉を混乱しないようにする。だいたい絞れてきたが他に意見は無いか。

大沼 1 回、2 回で判断してはいけないかもしれないが、議会報告会をやるとして来てくれるものではないことが一つ、今答えとして持っている。「シェアにのみや」をどうするか考えていく方が大事なのかもしれないと思っている。

渡辺 やり方は何をやるにしても検討していかないといけない。「シェアにのみや」をどういうふうにしていくかというところから議論するのか、今日はやるかやらないか、やるとしたら YouTube 配信かオンライン会議かにつ

いて決められたらと思う。

大沼 「シェアにのみや」のあり方については前振りが無いので今話すことではないのかもしれないが、それは改めて委員長から示していただくことが必要かと思う。現在で言えばオンライン、YouTube 配信をやってみてどれくらいアクセスがあるのか計る判断としてやってみるのもよいのかもしれないが、かける労力以上の効果が今のところ出ないのがはっきりしているので、そこのところはやるならもっと工夫しなければいけない。前回の動画も2分間程度しか見てくれなかった。2分間にどこまで引き付けられるかというところの引き出しが結構大事になってくるかと思う。ただ普通に報告するだけならやってもアクセスを増やすのは難しいのかもしれない。

委員長 どっちみち、やり方を工夫しなければならない。最初の2分で飽きられてしまうとデータで出ており、そのへんも含めてYouTube そのものが、ぐっとひきつけないと見ないでしょう。

松崎 極端な話、朝まで生テレビ形式で本当にバトルをやるなら、みんな面白がって見る。選挙が近いので、選挙前の朝まで生バトルトーク、飛び入りありとか。

二宮 議会報告会なので、あまりそちらに行くのも違うのかと思う。

委員長 私自身だと議会だよりだと情報量が随分限られると感じている。技術的に食いつきをどうするのかという問題もあるし、それはみんなで知恵を絞るしかないのかと思う。今の雰囲気だとYouTube だったらもう少し工夫してやってみてもよいのかと。

二宮 出演者が多くなればやってもよいと思う。

委員長 条件付きか。

羽根 今出演者の話だったが、予算を反対とか賛成とかした等の意見を、それぞれの議員が話すことはやってはいけないのか。

委員長 私は賛成の意見の人だけ出てくるのはよくないと思う。生テレビでバトルするわけではないが、賛成側の意見を一定の時間話してもらい、同じように反対側の意見を話してもらおうとか、以上が賛否の星取りの部分である。市民はそういうのが見たいのではないかと思う。何でこういう採決になったのかということが知りたいのではないか。

根岸 テレビのはもらえないと思うが、議会としてカメラを設置して議会中継ダイジェスト版とかはどうか。

杉崎 今、YouTube をやる方向で盛り上がっているが、実際問題として技術的にできる人はいるのか。誰もできないのではないかと心配になった。委員

長は編集できるのか。

委員長 できると思う。ただ、どれだけのものになるのかによると思うが。

二宮 前は、私が大沼委員にもお手伝いいただきながら一人で原稿を書いた。いろいろなところで分散すると、いろいろなところで膨らんでくるので出演者も原稿も多方面から出した方がよいのではないかと思い提案する。

委員長 たとえば議会だよりで 30 文字ではなかなか書けないとかはあるが、30 秒だったら結構言える。一人一分とか。一分も長すぎるのか。YouTube で編集すると。15 秒ぐらいか。コマーシャルは 15 秒なので。

羽根 前に露木議員がすごく得意で、一稿を長くしなければ、いくつあってもよいと話されていた。YouTube を一つで終わらせるのではなく、何々編とか。興味のあるところだけ見るかもしれない。賛成討論はこれとか、見る人が選べる。その方が飽きずに見てもらえる。私は全然テクニックは無いが委員長が作成するなら、お手伝いはさせていただきたいのでやりたい。

委員長 確認として今回もコロナのリスクが大きいということと、通常のやり方やオンラインでやっても、それなりの参加を望む状況には、すぐにはなっていないので YouTube で発信をしていく。内容については、これまでのように一人が話すではなく、それなりの工夫、内容が重要になってくると思うので、そういう見たいやり取り、見たい構成を意識するという事で一回頑張ってみるといふことよろしいか。

根岸 それは大変な話なのか。

二宮 どこに負荷がかかるのか、お金とかがかかるのか。

庶務課長 YouTube に作ったものを二宮の公式チャンネルに載せるだけなので無料である。自分たちで形式に合わせてビデオを作って載せる部分にはお金はかからない。

羽根 あまり上手じゃなくても伝わればよいのではないか。

委員長 ビデオの機械を持ってくる。後は編集をすればよい。どこかで台本を作らなければいけない。台本でここは本人が映るとか、テロップ入れるとか。ここはデータを入れるとか決める。少し、テロップを入れることはできる。

大沼 それは大変だと思う。それをやったら收拾が出来ない。それぞれの持ち時間を合わせると、一人 10 分やったら、それだけで百何十分になる。そんなの一人の時間に使えないし、編集するよりは、初めの 10 秒や 20 秒の間に話した後、続きは本人ブログ等のところに行けば見ることが出来る程度で、そういう感じでぱっと回して見てもらえるのであれば、そこに飛んでもらい見てもらうとか。途中でテロップ等を入れるとなると編集にすごい

時間がかかる。

根岸 説明ではなくコマーシャルのように 10 秒で、その人が派手なアクションでやっていて、それを撮るとか。

大沼 始まりは特に長くやったら切られてしまうので、私は議会でこういうことを言ったとか、それぞれが寸評を入れてもらい、他のところで3分でもそのことについて話し、3分撮った頭の10秒を初めのところに持ってくるとか、そういうものでもよいが。

杉崎 構成が大変である。

羽根 テロップだと難しいので司会進行がいればよいのでは。司会が一人いて、この回はこれだとやっていけばよいのかなと。話して撮っている分にはまだ編集しやすい。

委員長 いわゆる MC というやつか。

羽根 そうである。その方が繋がっていくのではないかと思う。

大沼 とにかく加工するのは大変だから周りに看板とか置いておくとか、表みたいなのを前に出すとか、テロップとかでやるより、そんなに大変ではないが。

根岸 カメラの中に収める方が簡単。

大沼 編集したものを入れるとなると大変である。

議長 いろいろな話が出ているが、YouTube とかだと話が一方的になってしまう。できれば議会報告会として、前にも話したことがあるが、これからコロナがどうなるか分からないが、チームを作り、集まりがあったところに出向いて出前報告会みたいなものも考えられる。そういう会合をやっているところに行って、そこで要求を聞いて、こういうことを説明してくれというのもありである。そういうのだったら向こう主催で会議をしているところで、そこに来てくださいということで行けばよい。こちらが集めるのではなく、いろいろな会合があるので、例えばゆめクラブの会合があるので、そういうところに来てやってくれないかなとか、要望を聞いて、そういうことも考えている。

委員長 議長からもう一つ、出前報告会の提案であるがいかがか。

大沼 現状では受け入れてもらえる会合が分からない。議長を含めて委員長の方で、どこがそういうことを受け入れるのか聞いてもらわないと。今の意見はリクエストとして委員長の方で受けてもらえればと思う。

- 羽根 出向くのもよいが、要望があった場合の準備をしておくのはだめか。要望があれば出向くというかたちで。移動町長室は決まった日にやって地域単位という感じだがそういうのもよいのかと。
- 松崎 議会報告会全部についての提案だが、もし要望があれば動く。たとえば大沼さんの富士見が丘1丁目の地区の集会で、どうしても議会報告会が聞きたいと熱い思いが届いたら私たちも準備すると。それがない限りはおとなしくしていきましょう。
- 二宮 YouTube を作るのであれば、手前に大きくスクリーンを映すことはできるのか。
- 委員長 できる。
- 二宮 そういうことはできますよとアナウンスするとか。
- 杉崎 先ほどの提案は良い提案だが、やっても要望が受けられるのは6月いっぱいでは。間があくと段々ぼけていく。少しハードルが高いのかと思う。そういうことを言うてくるのはだいたい年寄りが多いから、こういう次期なので、そういう会合はやらないということが懸念される。
- 委員長 実際、営業活動をしなければいけないが、出てくれば対応すると先ほども意見が出ていたが。発信の材料だけ作っておけば、それを持っていくなり、そこで繋ぐなら、そこでYouTubeにアクセスしてもらって見てもらうという使い方もできるのかと。
- 議長 私がなぜそういう発想をしたかという、たとえば議会報告会をやるよと言うと日時、場所その他準備をしなければいけない。そういうような準備をしなくても要望があっていくのであれば、そんなに準備が必要ではない。広報するわけでもないし。もし、その期間の中で要望があれば対応しますよというぐらいに。そういうことを議会だよりの中で新たな試みとして、そういう要望があるときは、どうぞというようなかたちをすると前もっての準備が要らない。そういう依頼が来た時に初めてどういうテーマでやろうとかか話し合えばよいわけである。
- 杉崎 数字的なものは議会だよりを見てもらえばよい。そういう人は予算総額いくらでということは聞きたくないと思う。行くと困っているという話である。終わったら期間を決めて、議会だよりに載せて、たとえば6月いっぱいまでの会合があれば出向くというのも一つである。
- 委員長 具体的に言えば、こういう要望があったら是非知らせて下さい、行きますよと広報する。6月になると6月議会に入ってしまうので、5月いっぱいまでとか。それを4月末に出る議会だよりでも掲載してもらう。

杉崎 4月末に出る議会だよりだと原稿の締め切りが3月15日である。

二宮 5月25日から6月議会の一般質問の通告が始まる。

前田 議会だよりは4月25日発行である。

委員長 最終の校正が4月14日である。

議長 全くやらないということではなく、コロナ禍だから、新しい試みとして、そういうことにも応じますよという一つの考えである。

杉崎 全員で行くわけではないでしょう。委員の中でも分けるのか。

議長 もちろんである。

委員長 チームを作って開催したらどうか。

杉崎 委員長と正副委員長が皆を連れて行けばよいのではないのか。

委員長 それは実際に出てこない。今日、決めさせていただくがYouTube配信をしていき、もう一方では要望があった時にはチームを作って説明に行く。その時もYouTubeの材料はそのまま使える部分なので。今日はそこまでを決めておく。議会の方で撮影をするとなると議会の撮っておかないといけない。議会の様子をスマホや普通のカメラでもよいので動画で撮る。最近普通のカメラでも十分撮れるので、材料を撮っておくか。実験的に。後で使えるかどうかは別として。

根岸 議案にもよると思う。

委員長 予算委員会の様子とか、テレビを見る人は分かるが、こんな雰囲気で行っているということが分かるようにしたい。

根岸 なんとなく雰囲気だけ短く撮る。議会だよりだと掲載している写真が平面的なので、この施設がこうと記事に書いてあっても、実際施設を撮りに行って、東大のあそこは穴が開いていたとか。動画でも撮影する。

杉崎 現実問題として、そういうのは難しい。

委員長 実験で一回やってみましょうか。

前田 ビデオを撮っていると議案に集中できない。議案が大事である。議会だよりで写真を撮る時も最初の挨拶を話しているのを聞き漏らしてしまう。

杉崎 やっているふりをしている時に撮る。

前田 固定ではなく移動するわけでしょう。

委員長 議会中にうろうろしていたら邪魔になる。

前田 固定ではそんなに意味はないと思う。

大沼 議場のやり取りを記録して編集しようとしたら、おそらくすごい撮影時間になると思う。はしょって撮ったとしても。それをどうするかといったときに、編集作業が大変である。それは手を付けない方がよい。議会が終わった後にでも、それぞれが5分とか10分でも短い時間でもよいが、自分は今回こういうことを聞きましたとか、こういうことは問題視しているとか言ったことを動画にするぐらい。できれば止めずに一本撮りでどんどん撮っていき、次々変えられるぐらいに。冒頭の部分だけをカットして前のところにくっつけるぐらいがいいところだと思う。

杉崎 そうすると規則だったか本条例だったか、今回は自分の意見は言わない。議会の全体の決まったことだったらよいが、それに変わるようだったら変えなければいけない。

委員長 全体の報告だから、一人がクローズアップされるのではなくて私はこう思ったとかを15秒ずつ言うとか。それだと報告の範囲にはならないかと私は思っていた。そのへんは事務局にも確認をしてもらわなければいけない。全体としては大沼委員の提案のように議会開催中に材料撮りといっても後からの処理が大変だし、終わってから残っていただくとか、御足労頂きコメントをもらうような図柄といたずらで何枚か撮ってみて、どういう感じに写るのか議長にも許可をお願いしたいと思う。あまり動き回ると画面がガチャガチャするので自分のところからでも行ったらどうか。

議長 前田さんが言ったように議会中では集中できなくなる。

委員長 そのとおりである。そういうことで今回はYouTube配信にトライしていきたいと思う。次の時には内容と、5分ぐらいにするのかとかを含めて台本の中身についてやらないといけないが、それをいつやるかだが議会終わってからでもよいのか。3月定例会中はしんどいか。会期中は厳しいと思うので、会期が終わり次第、内容についてやる。ここにいない方々にも議会が終わって協力してもらうよという前振りはしておいた方がよい。

杉崎 会期中でも休会日があるので、それを利用してもよいのではないかと。

委員長 休会日はいろいろ準備がある。

松崎 特に委員長はそのための休会日だというふうに承知している。

杉崎 お任せする。

委員長 はい。では会期後で。

杉崎 ここに議会だよりの人はいるのか。また終わるとすぐ議会だよるか。

委員長 議会だよりと日にち的にかち合うから大変である。

議長 基本的に議会報告会としてはやらない。

委員長 だが YouTube で配信するのと、報告会については要望があれば行って説明する。

議長 それは後の話だが今回はしない。議会だより編集委員にその旨を伝えなくてはいけない。

前田 議会だよりのところに基本条例のことについて記すスペースを用意するという事。

議長 そこで告知しないといけない。

前田 議長の方で書いていただきたい。

委員長 わかった。議会だよりの方で日程は決まったのか。たとえば3月定例会が終わった翌日はどうなっているのか。

二宮 22日火曜日の9時半からスタートである。

委員長 翌日集まるといったら厳しいか。議会だよりの作業に当てようと思っていたのにとか。

前田 翌日は何曜日か。

二宮 金曜日である。

庶務課長 そこは小学校の卒業式である。だから後ろに延ばして始めようという感じになる。呼ばれないかもしれないけど、一応念のためということで、3月18日は一応外している。

羽根 議会だよりが終わった時間からやるのはどうか。

前田 お昼には終わる。

委員長 初日か。

前田 初日はそんなに時間かからない。

委員長 3月22日の火曜日の午後1時でよろしいか。議会だよりと兼ねている方には申し訳ないと思うが。

二宮 議会だよりは午後まではかからないと言っている。

前田 そんなにかからない。

杉崎 22日は何か。研究会か。

委員長 次回は研究会である。3月22日火曜日の午後1時30分からで確認をさせていただく。それまでにはメールで情報交換したい。これをもって議会基本条例推進委員会を終了する。

閉会 16時00分